

リサイクルを通じて 環境を学ぶ機会を提供しています

販売後に回収した飲料空容器は責任をもってリサイクル・適正処理を行います。

また、「リサイクル・プラザJB」では、多くの皆様にリサイクルの現状や意義について知っていただくために、工場見学や環境教育活動に取り組んでいます。

飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

缶・ビン・ペットボトルのリサイクル工場として2003年5月に設立。1日あたり約25tのリサイクルを行っています。

●リサイクル実績



缶

金属加熱炉にてペレットに加工した後に製鉄会社へ出荷



ビン

ビンの色別（透明・茶色・緑色）に手選別しガラスリサイクル企業へ出荷



ペットボトル

手選別後ペール品に加工しペットボトルリサイクル（ボトルtoボトル）企業へ出荷

●リサイクル実績

2017年度処理量

6,817t



リサイクル・プラザJB外観



手選別ライン



缶から加工されたアルミペレット



金属加熱炉

●工場見学の受入れ

子どもから大人までどなた様でも1名様から見学を受付けています。実際にリサイクルの現場を目で見て感じていただくことができます。

●年間工場見学者数

2017年度

1,095人



工場見学の様子

担当者の声

安全稼働でリサイクルの効率化をはかります。

リサイクル・プラザJBの施設管理担当者として、工場の安全稼働のために日々の設備点検とあわせて設備故障を減らす取り組みを行っています。設備故障は、応急措置だけを施してすぐに工場を動かしてしまうと真の原因が不明のため、すぐに同じ故障が再発してしまいます。真の故障原因を突き止め、1つずつ解決していくことで故障率の低減を図っています。

このように設備故障を減らすことで工場ラインの停止時間も削減されています。その結果リサイクルの効率アップと生産性向上にも繋がっています。これからも安全第一を心掛けリサイクルに取り組んでまいります。

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 運営部 施設担当 係長 尾崎 公彦





環境出前授業の実施

小学校からの要望に応じて環境出前授業を実施しています。飲料空容器のリサイクルについて一通り説明し、その後実際にリサイクル製品も見て・触れていただきます。最後には、分別体験ゲームやリサイクルクイズを行い、子どもたちが楽しみながら学べるよう工夫しています。

- 埼玉県環境学習応援隊 登録事業者
- さいたま市 環境教育拠点施設



環境出前授業の様子



さいたま市 環境教育拠点施設

第7回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールの開催

毎年夏休み期間中にリサイクル・プラザJBを見学いただいた小学生を対象に開催している「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールは、これまで7回開催しています。昨年は開催期間中に810名の方にお越しいただき応募作文数は190通でした。優秀作品はジャパンビバレッジのホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/contest/>



表彰式



作文コンクールチラシ

SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバルへの出展

2017年12月2日に埼玉県が主催する「SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル」に出展しました。展示ブースにはリサイクル・プラザJBでリサイクルされた製品の展示、そして「ペットボトルのキャップをリユースしてオリジナルマグネットを作ろう!」と題してワークショップも開催しました。本フェアには約900名の方にお越しいただき、多くの皆様にリユースとリサイクルの体験をしていただくことができました。



ワークショップの様子



ワークショップのパネル

リサイクル・プラザJB工場見学
環境学習に関するお問い合わせ

ホームページ

電話

<http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/>
048-652-6671